

【コンペティション等への参加】

次のようなプロジェクトやコンクールがあります。昇降口に設置された掲示板にあるポスター等を確認してください。

○ 第 24 回日本水大賞

応募期間：～10月31日（日）まで

※ 2022 年日本ストックホルム青少年水大賞も同時に募集

応募期間：～9月30日（木）まで



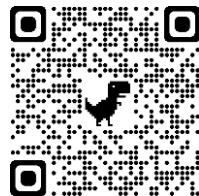
○ 第 44 回日本分子生物学会年会

応募期間：～10月4日（月）まで



○ 第 65 回日本学生科学賞（県予選）

応募期間：9月30日（木）～10月7日（木）まで



○ 「集まれ！理系女子」第 13 回女子生徒による科学研究発表 Web 交流会

応募期間：～10月15日（金）まで

みなさんの課題研究の成果を発表する機会として様々なコンクール等に関心をもってください。評価は他者がします。課題研究に取り組むだけで満足せず、積極的に発信する意識が必要です。興味をもった、応募するという人は企画推進部井上稔まで



【活動の記録】

5 月から夏季休業までに学んできた DS、DR での授業内容を簡単にまとめます。

・ DS 研究（1 年国際理学科）

初めて本格的な課題研究に取り組むにあたり、**ループリック評価**について学びました。「質的な評価」がなされる課題研究において「どのように評価されるのか」「次のレベルに到達するには何が不足しているのか」ということを共通認識として持つことは重要です。その後、Excel の基礎的な技術や単回帰分析、ビッグデータの扱い方を学び、自分たちの課題研究のテーマを決め、京都大学研修での課題研究発表会に向けて研究を深めました。また、統計データ分析コンペティションの受賞作品を例にとり、リサーチクエスチョンの方法や外れ値の影響、データの整形方法、研究で扱う言葉の定義の重要性等を学び、課題研究の内容を深化させる力を身につけました。

・ DS 探究（1 年普通科）

データ研磨・データ分析

単回帰分析、回帰直線、決定係数、相関関係と因果関係の違い、疑似相関について学習しました。また、ビッグデータから必要なデータを抽出し、グラフを作成する方法や、クロス集計、時系列データ、RESAS、e-stat、SSDSE のサイトの活用方法、知的財産権、文献の引用方法についても学習しました。過去の統計データ分析コンペティションの受賞作品を参考に、リサーチクエスチョンの方法について理解を深めました。

[1 年生へ]

PPDAC サイクルに基づいたワークシートを作成し、ポスター作成へと活動を進めました。具体的なデータ分析方法の意見交換ができることを期待しています。

・ DR 研究（2 年国際理学科）

データ分析

視覚的に確認できるアプリを用いて、k-means 法の考え方のイメージをつかみました。その後、プログラミング(言語は Python)を使用した、k-means 法によるクラスタリングについて学びました。

・ DR 探究（2 年普通科）

過去の統計データ分析コンペティションの受賞作品を参考に、リサーチクエスチョンの方法について理解を深めました。

[2 年生へ]

4 月からこれまでデータ分析・解析に用いるたくさんの技法を学んできています。探究活動の中で PPDAC サイクルに基づき、有効に実践してくれることを期待しています。